

令和5年度 福島中学校 シラバス

学 年	3	教 科	国語	担 当	中三川 千尋	時 数	105
◆教科の目標							
国語の特質を理解し適切に用い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うと共に、言葉がもつ価値を認識し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を育む。							
◆評価の観点及びその趣旨							
観 点	知識・技能 【知】			思考・判断・表現 【思】		主体的に取り組む態度 【主】	
趣 旨	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。			・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。		・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度をもとうとしている。	
◆年間指導計画（主要単元）							
月	領 域	単 元 名 【 時 間 】	学 習 内 容	観点別評価の規準 【知】(知識・技能)「何を理解しているか、何ができるか」 【思】(思考、判断、表現)「理解していること・できることをどう使うか」 【主】(主体的に学習に取り組む態度)「粘り強い取組を行おうとしている」 「自らの学習を調整しようとする」態度		評 価 方 法	
4月	Ⅰ 深まる学びへ	《読む分野》 「握手」 【 4時間 】	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えることができる。 <SDGs16>	【知】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えようとしている。 【主】粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。		【知】 ・ワークシート ・ペーパーテスト 【思】 ・ペーパーテスト 【主】 ・授業内でのグループワーク	
5月		《読む分野》 「学びて時に之を習ふ『論語』から」 【 2時間 】	◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 <SDGs4>	【知】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 【思】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 【主】人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を持ち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。		【知】 ・ペーパーテスト 【思】 ・ペーパーテスト 【主】 ・授業内でのグループワーク ・ノート	
		《書く分野》 「修学旅行記を編集する」 【 4時間 】	◎文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ◎目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。	【知】文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思】「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 【主】進んで文章の種類を選択し、学習の見通しをもって情報を編集し文章にまとめようとしている		【知】 ・ワークシート 【思】 ・ワークシート・作品 【主】 ・創作した作品	
6月		2 視野を広げて	《読む分野》 「作られた『物語』を超えて」 【3時間】	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ◎文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えることができる。 <SDGs10>	【知】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。 【主】進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。		【知】 ・ペーパーテスト 【思】 ・ペーパーテスト 【主】 ・授業内でのグループワーク ・ノート
	2 新しい視点へ	《話す・聞く分野》 「スピーチで社会に思いを届ける」 【 4時間 】	◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ◎目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。	【知】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 【主】相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている		【思】 ・ワークシート ・スピーチ 【主】 ・ワークシート	
《読む分野》 「報道文を比較してもう」 【 3時間 】		◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。	【知】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【主】積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。		【知】 ・ペーパーテスト 【思】 ・ワークシート 【主】 ・ワークシート		
7月	3 言葉とともに	《読む分野》 「俳句の可能性 俳句の世界」 「読書を楽しむ」 【4時間】	◎文章の種類とその特徴について理解を深めることができる。 ◎文章の構成や表現のしかたについて評価することができる。 <SDGs4>	【知】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】「読むこと」において、文章の構成や表現のしかたについて評価している。 【主】進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。		【知】 ・ワークシート 【思】 ・創作した作品 【主】 ・ワークシート・作品	

9月	4 状況の中で	《読む分野》 「挨拶ー原爆の 写真によせて」 【2時間】	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎詩の構成や表現のしかたについて評価することができる。 <SDGs3>	【知】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。 【主】詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。	【知】 ・ワークシート 【思】 ・ワークシート ・ペーパーテスト
		《読む分野》 「故郷」 【 5時間 】	◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる<SDGs16>	【知】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 【思】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【主】粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。	【知】 ・ペーパーテスト 【思】 ・ワークシート ・ペーパーテスト
10月	5 自分の考えを	《読む分野》 「人工知能との未来 人間と人工知能と創造性」 【 3時間 】	◎情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる ◎文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。	【知】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 【思】「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 【主】積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。	【知】 ・ワークシート 【思】 ・ワークシート ・ペーパーテスト
		《書く分野》 「多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く」 【4時間】	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ◎文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫することができる。	【知】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思】「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 【主】粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。	【思】 ・ワークシート ・創作した作品
11月	6 いにしえの心を受け継ぐ	《話す・聞く分野》 「議題解決のために会議を開く」 【 4 時間 】	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ◎進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。	【知】音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 【思】「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。 【主】積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている	【知】 ・ペーパーテスト 【思】 ・ワークシート ・授業内でのグループワーク
		《古典分野》 「君待つと一万葉・古今新古今」 「夏草ー「おくのほそ道」から」 【 4 時間 】	◎歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 ◎長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。<SDGs4>	【知】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 【思】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会について、自分の意見をもっている。 【主】人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめる。	【知】 ・ペーパーテスト 【思】 ・ワークシート ・授業内でのグループワーク
12月	7 価値を生み出す	《読む分野》 「誰かの代わり」 【 3 時間 】	◎和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。	【知】和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	【知】 ・ペーパーテスト 【思】 ・ワークシート ・授業内でのグループワーク
1月		《読む分野》 「温かいスープ」 「私束ねないで」 【 4 時間 】	◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。 ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 <SDGs4>	【知】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 【思】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 【主】今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。	【知】 ・ワークシート 【思】 ・ワークシート ・創作活動
2月	8 未来へ向かって	《話す・聞く分野》 「3年間の歩みを振り返ろう」 【4時間】	◎理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用語や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使うことができる。	【知】和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思】「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 【主】粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。	【知】 ・ワークシート 【思】 ・創作した作品 ・発表の内容 【主】 ・発表に用いた資料
3月		「学習を振り返ろう」 【 3 時間 】	◎具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 ◎時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。 <SDGs4>	【知】敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 【思】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	【知】 ・ワークシート 【思】 ・ワークシート ・創作活動